

業種	介護・教育	ミ ッ シ ヨ ン	社会貢献と社会貢献に携わる人材育成
本社所在地	千葉市中央区		
創業年	1999年		
代表取締役	松戸 圭子	業 務 内 容	人材育成（植物ケアデザイナー養成）、植物パズル療法®の講習、植物パズル療法®（以降「植パズ®」）のブロック、その他材料の販売、植物パズ全般に関する調査研究
従業員数	1名		
HP	https://posy.jp/		

1 - 経営課題とプロジェクトニーズ

サービスのオンライン化に向けた検討が急務

- 認知機能、ADL(日常生活動作)維持向上を目的に千葉大学との共同研究で開発されたプログラム「植パズ®」の介護施設への販路開拓と「植パズ®」を実践する植物ケアデザイナーの育成を進めていた。
- しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、介護施設への植物ケアデザイナーの訪問が困難になった。
- その為、新しいサービス形態として、「植パズ®」のオンライン化に向けた検討と施設導入を進めたいと考えていた。



C-BIDを通じて得た気付き

サービスのブラッシュアップと販売戦略はセットで検討するもの

- オンライン化に向けて解決すべき課題が山積みで、課題解決の優先順位を決めかねている状況でした。
- 当初は特に販路開拓を含む、販売戦略の検討を優先的に考えていましたが、求人を作成する為の課題整理・優先順位付けの議論を通じて、顧客との対話を踏まえたサービスの改善・検討手法の確立が先決であることを認識できました。
- その為、人材の採用においては販売に関するスキルだけでなく、サービスの企画や検討にも知見のある方を採用すべきことを認識できました。



2 - 認識した新規事業推進上の課題

- 顧客からの意見の吸い上げを踏まえたサービスの改善・検討の手法に関する知識が不足している
- 取り組むべき事項の優先順位付けの検討が不足している

3 - 採用した副業プロ人材の役割・属性

事業戦略立案支援 1名

「植パズ®」の改善・検討や販売戦略の策定について助言する役割

- > 介護施設運営
- > 経営コンサルティング
- > 人材紹介・人材派

計1名

4 - 企業に生じた変化・プロジェクトの展望

- 販路開拓に向けた資料を作成し営業を開始できた
- オンライン版「植パズ®」のテスト導入を開始できた
- 1〜5年目までの事業目標及び導入計画を策定できた

プロジェクト推進上の工夫点

- 副業プロ人材のスムーズな就業に向け、新規事業に関して過去取り組んできた内容を資料にして纏め、自身の置かれている状況や課題を整理することを心掛けました。

副業プロ人材の採用に取り組んでみた感想

経営者と医療従事者の双方立場で、取り組むべき活動が数多くある状況でしたが、副業プロ人材とともに優先順位を検討し、中長期的な事業目標と直近の計画を策定することが出来た点は、大きな前進であると感じています。

